

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2020年 6月25日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県別府市大字内竈字北尾関61番地

氏 名 別府中央生コンクリート株式会社

代表取締役 古川 裕宣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0977-67-3636

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	別府中央生コンクリート株式会社
事業場の所在地	大分県別府市大字内竈字北尾関61番地
計画期間	2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	窯業・土石製品製造業
②事業の規模	39,680万円
③従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートガラ 運搬業者→再生処理業者へ委託→中間処理(破碎)し再生骨材として再資源化



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 役	工場長 岩尾洋一 割	処理業者の調査、選定 委託契約の締結 廃棄物の発生抑制
副統括責任者 役	技術係長 河野国広 割	監督官庁への各種報告
管理票交付担当者 役	業務係 隈井辰也 割	産業廃棄物管理票交付・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	排出量	3824.83 t	t
	(これまでに実施した取組) 排出量の低減		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	排出量	3500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 排出量の低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 風雨で敷地外に飛び散らないように保管
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 風雨で敷地外に飛び散らないように保管

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	———— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	———— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	———— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	———— t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	———— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	———— t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	———— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	————	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	———— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	全処理委託量	3824.83 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	———— t	t
	再生利用業者への処理委託量	3824.83 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	———— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	———— t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	
	全処理委託量	3500 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	——— t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3500 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	——— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	——— t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。</p>		
※事務処理欄			

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2020年6月26日

大分県知事 殿

提出者

住 所 大分県杵築市大字守江2ノ2964番地1

氏 名 株式会社大分宇部 杵築工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

代表取締役 松尾 和弘

電話番号 0978-63-9311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

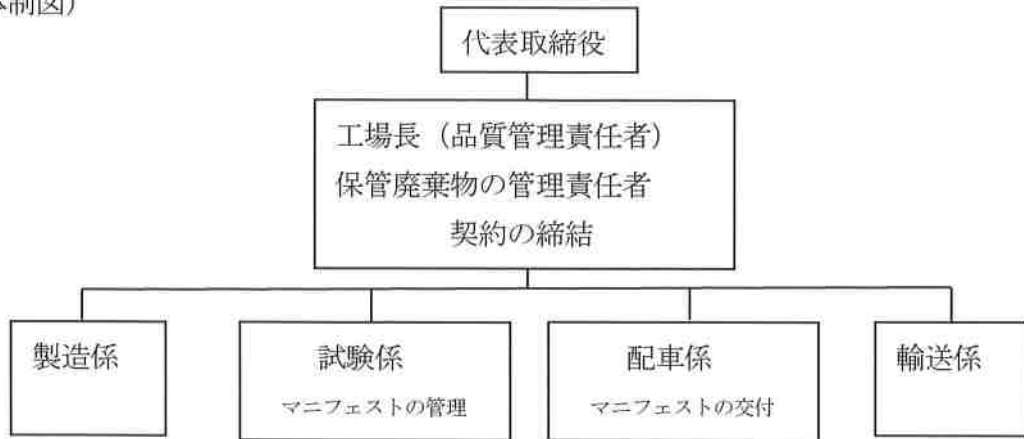
事業場の名称	株式会社大分宇部 杵築工場
事業場の所在地	大分県杵築市大字守江2ノ2964番地1
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業
②事業の規模	5000万円(資本金)
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(コンクリート殻) 産業廃棄物発生→産業廃棄物収集運搬業者【(株)共同運輸と契約】に運搬を依頼→産業廃棄物処理業者【宮迫建設(株)・(株)共同運輸と契約】によって処分する。 (汚泥(生コンスラッジ)) 産業廃棄物発生→産業廃棄物収集運搬業者【三原物流(株)と契約】に運搬を依頼→産業廃棄物処理業者【宇部興産(株) 荻田セメント工場】によって処分する。

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2019年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	汚泥 (生コンスラッジ)
	排 出 量	1879.88 t	1567.31 t
	(これまでに実施した取組) 1. 戻りコンの抑制 (コンクリート殻) 2. 乾燥率を上げる (汚泥 (生コンスラッジ)) ※5ヶ年計画で、これまで野積されてきたコンクリート殻、生コンスラッジを処分する予定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	汚泥 (生コンスラッジ)
	排 出 量	1800 t	1500 t
	(今後実施する予定の取組) 1. 生コンクリート納入現場との連絡を密にし、戻りコンの抑制に努める。 2. これまで天日干しヤードで乾燥させていたスラッジ水を、脱水機を設置しスラッジケーキにすることにより乾燥率もあがり、体積も減少できる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート殻を【宮迫建設㈱・㈱共同運輸】によって処分する。 ・汚泥 (生コンスラッジ) を【宇部興産㈱荻田セメント工場】で処分する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート殻を【宮迫建設㈱・㈱共同運輸】によって処分する。 ・スラッジ水脱水機を設置 (9月以降) し、スラッジケーキにする。 ・汚泥 (生コンスラッジ) を【宇部興産㈱荻田セメント工場】によって処分する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2019年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	汚泥（生コンスラッジ）
	全処理委託量	1879.88 t	1567.31 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1879.88 t	1567.31 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・納入現場との連絡を密にし、戻りコンの抑制 ・スラッジ水脱水機の設置を検討		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	汚泥（生コンスラッジ）
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1800 t	1500 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5ヶ年計画の3年目、計画を実施する ・引き続き納入現場との連絡をより密にし、戻りコンの抑制 ・スラッジ水脱水機を設置（9月以降） 		
※事務処理欄			